

○琴丘支所

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午前９時００分～午前９時３２分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	渡邊支所長、渡辺補佐、岡本係長
No.	質疑応答の概要
1	P22 ひまわりセンターの一般入浴券について、利用者数は。また、近年の利用者数の推移は。 ☐ 答 延べ１６，６１４人が利用された。近年の利用者数は１８千人台で推移しているが、令和３年度は漏水により浴室を休止したため、利用者数が減少した。
2	P24 青春館の施設使用料について、小夢の使用料単価は。また、コンサートホールの利用実績は。 ☐ 答 小夢の使用料単価は月額２１，０６０円である。コンサートホールの利用実績は６５件であり、令和２年度（２１件）に比して増加している。
3	P64 みたね鯉川地区交流センターの運営費補助金と事業費補助金との違いは。 ☐ 答 運営費補助金は、橋本五郎文庫の開館・管理などの経常的経費を対象としており、事業費補助金は、３Ｂ体操や室内グラウンドゴルフ大会などの活動的経費を対象としている。
4	P64 みたね鯉川地区交流センター運営委員会が管理する橋本五郎文庫の利用状況は。 ☐ 答 ２千人程度の利用があったが、例年よりは減少している。
5	P64 みたね鯉川地区交流センター及び旧上小校舎利活用協議会について、今後の運営に課題はあるか。 ☐ 答 雨漏り等の建物の老朽化が課題であると考えている。

○山本支所

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午前９時３３分～午前９時５３分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	皆川支所長、石井補佐、湊係長
No.	質疑応答の概要
6	P24 石倉山バンガローの利用者数の推移は。 [答] 令和元年度は６３件、令和２年度は４２件、令和３年度は３０件である。
7	P42 下岩川財産区特別会計からの繰入金１３０万円は、例年と同額か。 [答] 下岩川小学校閉校事業実行委員会補助金に充てられた１００万円が増額されている。
8	P44・66 総務費受託事業収入の森岳駅乗車券販売には、町が委託した駅管理人によるトイレ等清掃に係る手数料も含まれているとのことだが、北金岡駅トイレ管理業務については、同様の収入はないのか。 [答] 北金岡駅のトイレは町が設置したものであり、ＪＲ管理ではないため、収入を見込むものはない。
9	P68・70 金陵の館及びすいらんの館の管理費に関連して、管理人はいるのか。 [答] 金陵の館は、平日の午後及び土曜日は児童クラブで活用しているが、両施設とも管理人はいない。
10	P70・146 冬囲設置撤去（森岳駅前公園）に係る役務費について、作業員はどのように選定しているか。 [答] 山本地域公共土木施設維持管理業務を委託契約した作業員のうち、当該業務にも従事できる方に依頼している。

○総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午前９時５８分～午前１０時５２分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、川村補佐、石井係長、高橋係長、見上主席主査、 嶋田主席主査

No.	質疑応答の概要
１１	P40 町有地売払収入について、売払いに際しては入札が行われたのか。 答 当該物件は民家の敷地内に設置された水路（法定外公共物）であり、その土地の方からの申請に対して払い下げたものである。
１２	P40 公用車等売払収入について、公売にかけた台数は。 答 ７台を公売にかけ、すべて売払うことができた。
１３	P40 土砂売払収入について、どこの土砂を売払ったのか。 答 総務課管理分としては、大口駒隠沢の町有地である。
１４	P42 合併振興基金繰入金の充当先は。 答 当該基金はソフト事業を対象としたものであり、子育て交流施設の備品や防災行政無線の戸別受信機購入等に充てている。
１５	P48 宝くじ市町村交付金について、収入額は前年度と比べてどうか。 答 宝くじの売上が減少しているとのことで、８０万円ほど減収となった。
１６	P52 公営住宅整備事業債の借入は、交付税措置等はあるのか。 答 町営住宅からは住宅使用料が収入されるため、交付税措置の対象とはならない。
１７	P64 本庁舎駐車場舗装改修工事の対象箇所は。 答 本庁舎駐車場舗装改修は３年事業で実施しており、令和３年度は農政庁舎側を施工した。
１８	P72 行政連絡員の報償金に関連して、連絡員の負担軽減策は講じたか。 答 募金集金の廃止やチラシの町広報への統合などを行い、また、民間・郵政の活用も検討したが、代替案とはならなかった。令和４年度からは企画政策課に所管替えし、広報広聴の在り方について見直し協議が進められることとなっている。
１９	P75 庁用車管理費について、総務課が管理する公用車の台数は。 答 公用車１５台と研修バス２台であり、令和３年度においては、公用車２台を新規購入した。
２０	P83 衆議院議員選挙費に関連して、投票率の推移は。また、投票率を向上させるための取り組みは。

No.	質疑応答の概要
21	答 平成29年執行は58.88%で、令和3年執行は61.21%である。投票率向上については、社会情勢の変化に合わせた投票所の再編やふれあいバス等を活用した投票支援などを協議することとしている。 P186 財政調整基金は、積み増ししたのか。 答 令和2年度末から5億円程度を積み増ししている。

○税務課

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午前１１時０１分～午前１１時５４分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	嶋田課長、後藤補佐、三浦補佐、館岡主席主査、信太主事
No.	質疑応答の概要
	一般会計
２２	還付未済金が発生した理由は。 答 出納閉鎖（５月末日）直前の二重納付や還付通知に対する応答がないことなどである。
２３	滞納繰越分への対策は。 答 臨戸徴収・分割納付相談などに取り組んでいる。
２４	P12 固定資産税の滞納繰越分の件数は。 答 ４，８９６件（延べ１，３３５人）である。
２５	P12 たばこ税について、前年度比は。 答 喫煙者は減っていると思うが、税率の上昇により、８００万円ほど増収となっている。
２６	P46 軽自動車ナンバー紛失による弁償金は、@２００円×２１枚とのことだが、２１台も紛失するものなのか。 答 トラクターや原動機付自転車のナンバーは、廃車時に返還することになっているが、紛失により所持していないものが例年数十件ある。
２７	P80 秋田県地方税滞納整理機構負担金に関連して、機構に依頼した件数は。 答 ２件を依頼し、１００％が収納された。なお、当該機構は、令和４年度をもって廃止となる。
	国民健康保険事業勘定特別会計
２８	P195 国民健康保険税滞納繰越分の収納率が低下した原因を分析しているか。 答 令和２年度は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策として特別定額給付金（１０万円）が支給され、一時的に増収となったが、令和３年度は例年並みに戻ったものと捉えている。
２９	P207 収納向上対策費から報酬が支給される会計年度任用職員は、国保税の専任か。 答 収納事務全般をサポートしている。

○会計課

日 程	令和4年9月7日（水）
会 場	議長室
開 会	午後1時00分～午後1時09分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	平澤課長、国塚補佐
No.	質疑応答の概要
30	監査委員の審査意見にあった「予算書・決算書の見やすさ」「款項目の整理」についての見解は。 答 決算書の調製という観点からは、当初予算段階で「款項目の整理」が行われた場合、事務ミス等が減るものと考えている。

○議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午後１時１０分～午後１時２５分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	池内主席主査
No.	質疑応答の概要
３１	P56 議員共済組合負担金について、退職年金の受給者数は。 答 令和３年２月１８日付け年金振込明細書によると、退職議員３１人、退職議員遺族２３人である。

○企画政策課

日 程	令和４年９月７日（水）
会 場	議長室
開 会	午後１時３１分～午後２時２７分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	工藤課長、加藤補佐、伊藤補佐、川村係長、大村係長
No.	質疑応答の概要
３２	P40 光通信網設備貸付料について、光通信が整備されている地域は。 答 平成２３年度に山本地域（下岩川地区を除く。）が整備された。
３３	P42 ふるさと元気づくり基金について、ふるさと納税を増やす取組はされたか。また、減収となった要因を分析しているか。 答 インターネットサイトを６から８に増設した。ふるさと納税の返礼品として人気の高い米について、その数量を安定的に供給できるかが課題であると捉えている。
３４	P66 地域おこし協力隊事業用備品について、協力隊の活動目的及び活動状況は。 答 町外からの移住喚起を目的として、ＳＮＳを活用した町の情報発信を担っている。令和３年度は、Ｆａｃｅｂｏｏｋでは２４回更新を行い、ＹｏｕＴｕｂｅでは１４回配信を行い、登録者数が９２人から１５４人に増えている。
３５	P68 若者活動支援事業補助金について、補助金を支出した団体は。 答 こどもまつり実行委員会（小中学生のじゅんさいの摘み採り体験）、三種で暮らし隊（石倉山でスノーモービル）、みたねーしょん（ラジオ・イベント司会）、長信田の森のいきいきふれあいプロジェクト（高齢者の孤食を防ぐ活動）、リンクスケートボード、三種ゴスペルの６組である。
３６	P72 自治会助成金について、申請されない自治会もあるのか。 答 令和３年度においては、４自治会から申請がなかった。
３７	P78 みたね縁結びサポーター補助金について、何人がサポーターとして活動しているか。また、その活動の成果はどうか。 答 ６人がサポーターとして活動しているが、成果としては、平成２８年度の発足から１組の成婚である。現在は、町内におけるマッチングには限界があると認識しており、事業の広域展開を模索している。
３８	P78 巡回バス・ふれあいバスの修繕料について、大きな事故はなかったか。また、車検申請等手数料について、車検切れの車両はなかったか。 答 バスによる対人・対物の事故は起きておらず、雪によるバンパー破損等の修繕などはあった。バスは町の所有であるため、企画政策課が車検切れとならないよう確認している。

No.	質疑応答の概要
39	P78 公共交通待合所管理業務とあるが、待合所はどこに設置しているのか。 答 秋北バスと巡回バス、ふれあいバスが接続する商工会館に設置している。トイレ清掃や冬期間の暖房管理などを委託している。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

決算特別委員会総務分科会委員長 伊 藤 千 作